西暦 2025年 10月 29日 作成

泌尿器科領域の腫瘍性疾患の発症、進展、及び薬剤の治療効果に関わる遺伝子の解析 研究課題名 横浜市立大学および検体提供機関において腫瘍性疾患(副腎、腎、尿管、膀胱、前立 研究の対象 腺、精巣、後腹膜等のがん・腫瘍)の診断で手術治療を受けた方 横浜市立大学にて研究対象となる期間:1991年7月1日~承認日 (目的) これまでの医学研究から、ひとの腫瘍やがんといった病気は、私たちの体 を形作っている正常な細胞の中の遺伝子(体や細胞の設計図といえます)に、ごく わずかな変化(異常)が起こることで、発症してくることが分かりつつあります。こ の研究では上の泌尿器領域の腫瘍の遺伝子の異常を探します。そして腫瘍の病変細 胞の遺伝情報と正常な細胞の遺伝情報を比べることにより、なぜ不具合な細胞が生 まれ、様々な症状をもたらすのかを詳しく分析し、さらにその病気に対する新しい 診断や治療の開発につなげていくことを目的としています。 (方法) 病気の診断や治療のための手術により摘出され、横浜市立大学附属病院お よび検体提供機関に保存、保管されている残余検体や採取済みの血液検体を使用し ます。これらに含まれる遺伝子DNAやそこから作られるRNA、蛋白質などを細 かく調べます。ヒトの遺伝子の総数は、全体では2万数千種類あることが分かって いますが、その中のどの遺伝子が具体的に病気と関係しているかは、多くが明らか ではありません。そこで関係する可能性のある数多くの遺伝子を調べることになり ます。また病気に関係する可能性がある新しい遺伝子が見つかった場合には、その 研究目的 遺伝子についてもさらに詳しく調べる必要があります。解析の際にはあなたの診療 • 方法 記録も使わせていただきます。 近年、技術革新が進んだことにより、ヒトー人の持 つゲノム(全ての遺伝情報)の個人差と病気との関わりを調べることができるよう になりました。これによって、これまで病気の原因やその人個人に最も適切な治療 法を調べることが困難であった疾患についても、個人の遺伝情報のレベルで細かく 究明できる可能性が広っています。なお、病気に関連する遺伝子の研究では、たく さんの専門領域の研究者の方々の協力を得て、数多くの試料を扱い、高度な解析装 置を使用し、膨大な量の遺伝情報を国内外の研究者間で広く共有しながら研究を進 めていく必要があります。そこでこの研究では、さらなる研究を促進するため、他 の研究機関(下記の外部への試料・情報の提供と研究組織を参照)と協力体制を組 み、あなたの遺伝情報が誰のものかわからないようにしたうえで、世界中の研究者 が閲覧できるデータベースに登録します。 遺伝子の研究結果は様々な問題を引き起 こす可能性があるため、研究試料の取り扱いを慎重に行う必要があります。具体的 にはあなたの試料や診療記録は、分析する前に住所、氏名、生年月日などを削り、 代わりに新しく符号をつけどこの誰の試料かが分からないようにした上で(これを

匿名化といいます)、実際の解析に用います。 共同研究として検体や治療経過の情

ヒトゲノム・遺伝子解析研究等に関する情報公開用文書

報を他の研究機関に提供して解析を行うこともありますが、その際にもこの匿名化 した情報に基づいた解析を行いますので、皆さんの個人情報が外部の研究機関に伝 わることはありません。本研究には、大学や病院から配分される研究費あるいは国 や公的機関などの競争的研究費、民間企業からの研究寄付金が使われます。民間企 業との利益相反関係については、横浜市立大学臨床研究利益相反委員会において、 適切に審査・管理されております。本研究で得られた情報は、将来、本研究に関連す る別の研究のために利用させていただく可能性があります。その場合には、その計画につ いて別途倫理審査委員会の審査を受け、承認を得た上で使用します。 研究期間 西暦 2012 年 4 月 1 日 (機関の長の実施許可日) ~ 西暦 2032 年 3 月 31 日 病気の診断や治療のための手術により摘出され、横浜市立大学および検体提供機関に 研究に用いる 試料・情報の 保存、保管されている残余検体試料(病気の部分と対の正常部分)とあなたの診療記 種類 録も使わせていただきます。 ①理化学研究所(横浜市鶴見区末広町 1-7-22)、②愛知医科大学(愛知県長久手市岩 作雁又1番地1)、③東京女子医科大学(東京都新宿区河田町 8-1 西病棟A 2 階、④ 岐阜大学(岐阜県岐阜市柳戸1番1)、⑤兵庫医科大学(兵庫県西宮市武庫川町1-1)、 ⑥東京大学(東京都文京区本郷7丁目3-1)、⑦Mayo Clinic (200 First Street SW, Rochester, MN 55905、アメリカ合衆国)、⑧東京科学大学(東京都文京区湯島1丁目 5-45)、⑨北海道大学(北海道札幌市北区北8条西5丁目)、⑩KOTAI バイオテクロ 外部への ノジーズ株式会社 (大阪府吹田市山田丘 2-1 大阪大学 産学共創 B棟 2階)、⑪株式 試料・情報の 会社ジェネティックラボ(札幌市中央区北 9 条西 15 丁目 28 番地 196 札幌 IT フロン 提供 トビル 3F)、⑫株式会社ケミカル同仁(熊本県熊本市南区流通団地 1 丁目 4 4-2)、 ③Novogene Co. Ltd (中国)、⑭株式会社マクロジェン・ジャパン、⑮タカラバイオ 株式会社、⑩生物技研(神奈川県相模原市緑区長竹657)、⑰株式会社 Cancer Precision Medicine (神奈川県川崎市川崎区東田町 1-2) へ、あなたの名前、住所、 生年月日を含めたすべての個人情報が完全に削除された状態で、上記試料および臨床 的な経過情報を提供させていただきます。 [研究責任者] 横浜市立大学 蓮見壽史 [共同研究機関] ①理化学研究所・中川英刀、②愛知医科大学・都築豊徳、③東京 女子医科大学・長嶋洋治、④岐阜大学・松尾政之、⑤兵庫医科大学・大江知里、⑥ 東京大学・山東信介、⑦Mayo Clinic・Sounak Gupta、⑧東京科学大学・長谷川高 矩、⑨北海道大学・古屋充子 研究組織 「受託解析機関」⑩KOTAI バイオテクロノジーズ株式会社・山下和男、⑪株式会社 ジェネティックラボ・青山倫也、⑫株式会社ケミカル同仁・川上公尋、⑬Novogene Co. Ltd・Hideki Yakushiji、⑭株式会社マクロジェン・ジャパン・安光得、⑮タカ ラバイオ株式会社・仲尾功一、⑯生物技研・中野江一郎、⑰株式会社 Cancer Precision Medicine・嶋田 順一

ヒトゲノム・遺伝子解析研究等に関する情報公開用文書

[検体提供機関] ⑱山形大学・内藤整、⑲がん研有明病院・三浦裕司、⑳神奈川県立がんセンター・中井川昇、㉑秋田大学・羽渕友則、㉒岩手医科大学・加藤廉平、㉓熊本大学・元島崇信、㉓名古屋大学・赤松秀輔、㉓東京女子医科大学・石原弘喜、㉓愛知医科大学・佐々直人、㉑東京都立多摩総合医療センター・佐藤悠佑、㉓香川大学・内藤宏仁、㉓順天堂大学・永田政義、㉑虎の門病院・林田迪剛、㉑新潟大学・晝間楓、㉒山梨大学・望月孝規、㉓信州大学・塩﨑政史、㉓徳島大学・古川順也、筠埼玉医科大学総合医療センター・北山沙知、筠東京科学大学・田中一、㉑自治医科大学・稲村健太郎、鄒大阪大学・加藤大悟、㉑日本医科大学・武田隼人、⑪東京慈恵会医科大学・都筑俊介、⑪愛媛大学・三浦徳宣、㉒兵庫医科大学・齊藤亮一

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、検体等の提供者もしくは代理人の方にご 了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場 合でも患者さんに不利益が生じることはございません。

問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先:

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 3-9

横浜市立大学 泌尿器科 (研究責任者) 蓮見壽史

(個人情報管理者) 青盛恒太

電話番号:045-787-2679 FAX:045-786-5775